

2025年度 看護学科 総合型選抜Ⅱ期

入学試験過去問題 (解答例)

小論文

問1

「幸せは自分で少しずつ作り上げていくもの」という筆者の考えに大賛成である。「幸運」を受け身で待ち続けて、ラッキーな人を羨んでいてはいつまでたっても幸せにならない。幸せは人によって違うもの。毎日の生活の中で、自分のできることを精一杯継続していくことで、幸せは少しずつ実感できるものだと思う。

(145字)

問2

今の時代は、華やかでまばゆい働き方をしている人の情報があふれていて、毎日コツコツと地道に働いている女性は目立たず評価されにくい。そのため、「ふつうの幸せ」と考えられる「ふつうに働き、ふつうに暮らす、穏やかで平凡な幸せ」のロールモデルがなく、そのようなふつうが幸せであるという共通認識ができないからと筆者は考えている。また、「青春とは人生のある期間ではなく、心の様相を言うのだ」という詩を読んだことがあるが、私は「幸せも人それぞれの心の持ち様であって、一人ひとりがつくっていくもの」と考えている。だから筆者の言うように、世間に華々しく紹介される「特別な幸せ」の一部の情報に惑わされてはいけないと思う。

(298字)